


全国学校ギター合奏コンクール 2023 審査講評

A-14 番 団体名 埼玉県立坂戸高等学校ギター部

課題曲 曲名: イタリアーナ/O.レスピーギ<指揮:森澤友貴>

自由曲 曲名:花宴/百瀬賢午 <指揮:打田ひより>

審査員名	課題曲	自由曲
有馬	マナー○ アナリーゼ○ 技術○これまた 大世帯。まとめるのが大変でしたでしょう。ずいぶん優しい柔和な曲を選んだものですね。これだけの人数ならもっと元気の良い曲の方が点かせぎできたのに…。上手ですけど パワーに乏しいな。どちらかという と 損なのに…。でも とてもムーディーで心が和みますよ。欠点は特にありません。	こちらの方が力が湧きますね。百瀬さんの曲はどちらかという と ポップスというか ロックというかゾーンの決められない豊かな曲が多いのですが、これは純音楽に近い真面目な曲ですね。日本的を意識されたのかもですが 情緒的で それはうまく表されています。話はバイザウェイですが私は昔百瀬さんがエレキで古典の曲を(スカルラッティ?のソナタだったかな?)演奏したのを聴いてびっくりしたことがあります。余談ですが…。
新堀	マナー○ アナリーゼ◎ 技術○ 音色◎指揮、左平坦。ソフト音◎これに徹しての編成◎	アナリーゼ◎編成がらりと変えた○美しいピアノシモ=流れ○各パート生かした。ショウや舞いの入る曲ですがコーラス○拍手◎
竹内	18小節目の E#の音が2回とも不安定になる不思議。大人数で音が丸裸になって緊張も伴って大変と思いましたが なかなかバランスよく 美しかった。	早い曲なのでちょっとした「事故」はあったが 日本的な情緒をうまく音で表現していたと思う。フレーズの方角性が分かりやすく、歌を引き出していた。
猿谷	唯一の  をちゃんと意識した演奏	もっとアンサンブルのうまさが表現できるような選曲を期待
堀	こちらの席にはピッチカートのパートの音が残念ながらほとんど聞こえてきませんでした。同じpでも基本音量が小さいピチカートのパートは大きめに弾く方がいいと思います。曲を通して 息継ぎをする箇所が見つけられなかったように感じます。	Cb.がいるのは強みですね。全体的に抑揚がもっとつけられたら良かったように感じます。(終盤の歌が唐突に感じなくなるように)。ピッチ、いまいち。
柴田	この曲の持っている本来の美しさを感じられない。バランスの問題か?	トレモロの入り方って他にあると思うが…。全てのメロディーを点でしか出していない。トレモロに頼りすぎると 単音のメロディーが根付かないと思う。
中島	調弦(高音パート)? 途中音ミスいくつかあり	和洋、長調 短調が頻繁に入れ替わり、最後にはコーラスも入る大掛かりな作品をよく弾き切った。

【お問い合わせ】

全国学校ギター合奏コンクール 2023 開催事務局(現代ギター社内)

〒171-0044 東京都豊島区千早 1-16-14

Tel.03-3530-5341